

# 「踏みしめて」第38号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

第1回目の「森町の明日を語ろう会」では8名の方にご参加いただき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

内容は、スマートインターチェンジ関連事業、新体育館建設、天浜線新駅についてを主なテーマとし、メリット・デメリットなどを語り合いました。次回は7月3日（水）19時から下宿公会堂、参加費は200円です。次回からは、茶菓子に森町のお菓子シリーズ、最後にアピールタイムなどを設けていこうと考えています。

さて今号は、6月議会で審議された内容を主にご報告いたします。

## 新体育館の基本構想ほぼ固まる！

森町総合体育館の建設検討委員会が、今年1月から5月にかけて先進地視察を含めて6回開催され（現在も協議進行中）、基本構想がほぼ固まりました。検討された基本構想は次のとおりです。

1. 周辺地域に馴染み、圧迫感を与えないような外観構造とする。
2. 日照権を阻害しないよう、考慮する。
3. 競技場の広さは、バトミントンコート8面取れる大きさを確保する。  
バレーボールコートは、現行通り2面とし、公式試合に対応できるスペースを確保する。
4. 天井高は、バレーボールルールで規定している13mを確保する。
5. 格技場は、1室を仕切り別々に使用できるようにし、1室にすれば試合が可能な構造、広さとする。
6. 競技場等の照明設備は、吊り下げ・昇降式とし、電球はLED照明を使用する。
7. 2階の観覧スペースに、ランニングコースを設ける。
8. トレーニングルームを設置する。
9. ステージは設置しない。

また国の補助金制度を活用するために、補助対象として必要とされる施設（体力測定室、研修室、談話室、健康相談室、シャワー室等）を組み入れて、受給要件を満たすものとなりました。

## スポーツ振興基金500万円に！

葛城ゴルフ倶楽部で開催された「ヤマハレディースオープン葛城」の収益金の一部100万円を、ヤマハ株式会社及びヤマハ発動機株式会社から寄付として受けたため、スポーツ振興基金に積み立てることとなりました。これにより基金残高は500万円となります。

## 固定資産評価審査委員に杉浦氏

森町固定資産評価審査委員会の委員3人のうち、岩佐勇作氏が本年7月14日をもって任期満了となるため、後任として杉浦茂氏が選任されました。

杉浦氏は、森町城下出身、袋井市在住、司法書士事務所を森町森に開業しています。

固定資産評価審査委員会は、中立的・専門的な立場から、納税者が申し立てた、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行う行政委員会です。

## コミュニティ助成金

自治総合センター・コミュニティ助成金を受けて、明治町町内会の太鼓や屋台心棒等の購入の経費に対して、250万円を助成することとなりました。

また、同助成金200万円を受けて、自主防災組織の可搬ポンプ更新を4台追加するための費用220万5,000円が補正計上され、本年度は14台の更新予定となりました。

## 公民館建設に850万円補助

大門町内会の公民館整備事業に対し、県から400万円、町から450万円、計850万円が補助されることとなりました。(条例に定められた金額となります)

## 食体験ハウスにコース料理 アクティ森

リニューアルオープンした「森のレストランかわせみ」が、コースメニューを提供できるよう更に施設をリニューアルすることとなりました。修繕費が100万円以上かかる場合には町から持ち出すこととなっているため、今回275万円が補正計上されました。

当レストランは株式会社アクティ森の直営となり、年間の売り上げ目標を5,000万円としています。以前の方式では年250万円ほどのロイヤリティがあったそうですが、今回直営となったため、更に売上を伸ばす必要があるようです。

## 平成25年度産業課事業予定箇所一覧 (単位 千円)

事業名	事業内容	事業費	地区名
太郎杉線開設工事	林業専用道 L=500m	26,402	三 倉
境杉線開設工事	林業専用道 L=400m		三 倉
薄場(堀切)地区地滑り防止工事	ブロック積工、水路工、舗装工他1式	3,675	薄 場

## 青年就農給付制度を活用！

静岡県では青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間(準備型)および経営が不安定な就農直後(経営開始型)の所得を確保するための給付金を給付します。

森町では1名の方が当制度を利用していましたが、今回新たに1名が新規就農し制度を利用することとなりました。

内容は、年間150万円、最長5年間の給付となります。…詳しくは町の産業課まで…

## 「内陸のフロンティア」を拓く取組

平成25年2月15日に静岡県申請の「内陸のフロンティア」を拓く取組が地域活性化総合特区に指定されました。森町の位置付けは「創造的田園居住エリアの形成」となっており、規制の特例措置等の提案として、土地利用に関する国との一括事前協議制度の創設を目指します。

指定エリアを形成するために、①遠州森町PA周辺有効活用推進事業、②森掛川IC周辺次世代産業集積事業、③内陸部への移転企業の受け皿確保事業の3事業を本年度検討していきます。